

第1学年6組 道徳指導案

- 1 主題名 家族とのかかわりを考える [内容項目C-(14):家族愛] (1時間完了)
〈資料名 「わたしが生まれ変わった日」
出典:明るい人生(愛知県教育振興会 一部改作)〉

2 ねらい

小学生の頃からいじめの対象となり、孤独の淵に沈んでいたわたしが、母の一言から母の深い愛情に気づき、母に敬愛の念を抱くまでの心情の変化をとらえることを通して、家族を大切にしようという道徳的実践意欲を高める。

3 ねらいとする道徳的価値

近年、核家族化が進み、家族の姿やあり方が大きく変わってきている。社会の変化に伴い、家族の触れあう時間は少なくなり、家族そろって食事をするのが難しくなっている。それを示すデータとして、総務庁「青少年の生活と意識に関する基本調査(第2回)」(2000年)と、内閣府「低年齢少年の生活と意識に関する調査」(2006年)がある。二つの調査から分かることは、母親と子どもの接する時間が減り、父親と子どもの接する時間は「ほとんどない」という割合が増加していることである。しかし、家族は最も信頼できる存在であり、互いに助け合い、絆を深めていくものには変わりはない。家庭内における悲惨な事件が後を絶たない今だからこそ、充実した家庭生活を築くことが求められている。そのために父母への敬愛の念を深めさせ、家族の一員という自覚を高めたい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

授業参観などの学校行事に、大半の保護者が積極的に参加していることから、わが子への愛情を強く感じる。しかし、本学級の生徒に家族に対する意識についてアンケートしたところ、家の人とよく話すという生徒は79%、保護者に対して素直になれない時があると感じる生徒は41%であった。アンケート結果から、生徒の親への反応はさまざま、父母の愛情を素直に受け止められず反発する生徒も少なからずいることがわかった。

この資料を通して、この世に生を受けたことを後悔したり、母親の「命をかけて守るから」という一言を聞いて深い愛情に気づいたりする主人公の心情に寄り添う中で、日頃支えてくれる家族について考え、家族の愛情を確認するきっかけとしたい。そして、母親が亡くなった時に主人公がかける言葉を想像したり、家族に支え続けられていた教師の体験談を聞いたりして、家族への敬愛や、感謝の念をもって過ごそうという実践意欲を高めたい。

(2) 抽出生徒について

① 抽出生徒Aについて

Aは級友の気づかないところで、教室の窓を閉めたり、点けたままの電気を消したりと、進んで人の役に立とうとしてきた。

しかし、円滑な人間関係を築くことは苦手である。少しでもAにとって不快に感じる言動と受け取ると、親しくなった女子生徒や教師に対しても心ない言葉を発してしまう。教師がAとじっくり話し合うと、さまざまな原因を語り始めるが、次第に母親に対する不満も口にし始めることが多い。Aは母子家庭であり、母と二人暮らしである。母親は仕事が忙しく、帰りが遅いようである。じっくり話し合う親子の時間を取りにくいことが、母親への暴言の原因の一つになっている。

本授業を通して母親の子どもに対する愛情の深さにふれることで、抽出生徒Aの母親への見方や接し方がよりよくなることを願っている。そのため、母の愛の深さに気づいたAの考えを意図的に取り上げたり、ほめたり、焦点化できるよう補助発問をしたりすることで考えを深めさせたい。

②抽出生徒Bについて

Bは母子家庭であるが、抽出生徒Aと比較すると、母親と良好な関係を築いているようだ。Bの生活作文によると、母親はAの習い事の大会には必ず顔を出し、精一杯の声援を送っていたという。また、「先生と話そう週間」で日ごろの家庭生活を聞いてみると、課題や提出物の状況を毎日のように心配し、できていなければ叱咤激励をしているともいう。母親を口うるさく感じることもあるようだが、Bの母親を頼りにしている姿が浮かぶ。

資料中の「わたしなんか生まれてこなければよかったんだわ」と言った「わたし」の気持ちを考える時、抽出生徒Bは母親に心配をかけさせまいとする主人公の思いやりに気づくであろう。多くの生徒が主人公の母親に対する怒りと考える中で、Bの意見を取り上げ、ゆさぶることで、主人公の葛藤に迫る。そして、抽出生徒Aの考えの変化や、資料中の母親の見方を変える「わたし」にふれるなかで、Bと母親とのかかわりが今後さらによりよくなることを願っている。

5 資料について

(1) 資料の概要

ハンデをもって生まれた「わたし」は母親から過保護に育てられ、自分の意志では何もできなかった。そのため、小中学生になると、いじめの対象になった。

小学生のある日の下校時にランドセルの肩かけの部分が切られていた。ランドセルがこわれた理由を問い詰める母親に対して、「わたし」は自分のプライドを守ることと、母親への気遣いのために一言も話さなかった。こうして、母親との間にしだいに心の溝をつくってしまう。

中学3年生になると複雑な家庭環境をクラスメイトに暴露され、不登校になった。不登校の原因をしつように探る母親に、ひどい言葉を投げつける。しかし、母親から返ってきた言葉を聞いて、考えもしなかった親の愛情に気づき、勇気をもって生きることを決意する。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料との対話をさせるための手だて

口うるさく言う母親に対する「わたし」の気持ちを感じ取り、資料の世界に入りやすくするために、事前にアンケートを実施する。質問項目は①「家の人とよく話すか？」②「保護者に対して素直になれない時がある？」③「あなたにとって保護者はどんな存在？」とする。そして、本時の導入では③について発表させて、ねらいとする道徳的実践価値について考える場とする。

「わたし」と母親とのかかわりが分かりやすくなるように、かかわりが表現されている一文や、語句にサイドラインを引いた資料を用意する。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

抽出生徒やその他の生徒の考えを把握したり、広めたりするために、事前に実施したアンケート内容を座席表に記録し、教師の意図的な指名に活用する。

「わたしなんか生まれてこなければよかったんだわ」と言ったときの「わたし」の気持ちを考える時、母親に対する怒りに共感する意見に傾いたら、抽出生徒Bの心配をかけさせまいとする主人公の思いやりに気づいた意見を広める。

今まで気づけなかった母の愛の深さに気づいた抽出生徒Aの考えを意図的に取り上げることによって、話し合いを深められるようにしていく。また、Aの考えを教師が意図的にほめたり、焦点化できるよう補助発問をしたりすることで考えを深めさせ、話し合いの活性化を図る。

6 板書計画 (36ページ参照)

7 本時の展開

時間	学習活動	※教師支援 ☆評価
5	<p>あなたにとって親はどんな存在か。</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>父 夜遅くまで働いて、頑張っている存在。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>母 いろいろ世話をしてくれて、優しい存在。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>母 ぼくが何をしても口うるさい存在。</p> </div> </div> <p>○資料の範読を聞く。</p> <p>「わたしなんか生まれてこなければよかったんだわ」と言ったときの「わたし」はどんな気持ちだったのだろう。</p>	<p>※生徒が資料中の筆者の心情に寄り添えるように、事前アンケートを行っておく。</p> <p>※生徒が内容を理解できるように、範読前に登場人物を紹介する。</p> <p>※筆者の母親とのかかわりが押さえられるように、一文や、語句にサイドラインを引いた資料を用意する。</p>
10	<p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><絶望></p> <p>苦しんでいるわたしをわかっていない。もうどうでもいい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><怒り></p> <p>もう、これ以上問い詰めないで。しつこい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><後悔></p> <p>ひどいことを言ってしまった。言い過ぎてしまった。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 60%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>問い詰められなかったのはなぜだろう？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 60%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>いじめられていると聞いたら、きっと心配すると思ったから。(①)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 30%; margin-left: 0;"> <p>生まれなければ、いじめられないのに、悲しい。</p> </div>	<p>※苦しい境遇の中で必死に生きている筆者の思いに共感できるように、さまざまないじめを受けた主人公のできごとを確認する。</p> <p>※母親に対する怒りという意見に傾いたら、心配をさせまいとする主人公の思いやりに気づいた抽出生徒Bの意見を取り上げ、ゆさぶる。(①B: ゆさぶる)</p>
20	<p>母の一言を聞いて「わたし」は何に気づいたのだろう？</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><否定></p> <p>過保護に育てられたからいじめられた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>もっと早く、その一言を聞いたかったのに。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><驚き></p> <p>どんなことがあってもわたしを本当に愛していたんだ。(②)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「わたし」のことを大切に思ってくれているのを知らなかった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><謝罪></p> <p>「わたし」のことを大切に思ってくれていたのに、ごめんなさい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>お母さんの気持ちを知らずに、ひどいことを言ってごめんなさい。</p> </div> </div>	<p>※今まで気づけなかった母の愛の深さに気づいた意見を取り上げ、抽出生徒Aに投げかける。(②E: 切り返す)</p> <p>※「うれしい」という意見に対しては、母親の一言からどんな思いが伝わったのだろうと抽出生徒Bに問いかけ、Bの意見を広める。(③E: 切り返す)</p> <p>☆母とも心の溝で隔てられた「わたし」が、母の一言から母の深い愛情に気づき、</p>

	<p><喜び></p> <p>お母さんが支えてくれるから、わたしはひとりきりじゃないんだ。(③)</p>	<p>お母さんの気持ちを聞けてうれしい。</p>	<p>敬愛の念を抱くまでの心情の変化に気づいたか。 (ワークシート・発言)</p>
35	<p>○振り返りをする。</p> <p>「何かしてもらったら、素直にありがとうと言えるようにしたい。」や「一緒に過ごす時間を大切にしたい。」などの前向きな意見を広め、家族を大切にしようという思いをもてる終末にする。</p>		<p>※抽出生徒Aを意図的に指名し、今までより家族を大切にしたいと感想を述べたら認める。</p>
40	<p>○教師の説話を聞く。</p> <p>『主夫』として家族の食事を作ってきた父親が亡くなったことで、改めて家族を、子どもを支えてきたこと(父の家族愛)を感じた体験談を話す。体験談を通して、何げない日常に見えても家族に支えられていることに気づき、前向きに受け止められるようにする。</p>	<p>母親の子どもへの深い愛情や、筆者の母への敬愛の念に気づき、自分の家族を大切にしようという道徳的実践意欲を高める姿。</p>	<p>※陰で支えてくれた家族の愛情に関する教師の説話を話し、余韻を残す。</p> <p>※説話の雰囲気合ったBGMを流し、耳をすまして聴けるようにする。</p> <p>☆本時の資料や、教師の説話を通して、家族の深い愛情に気づき、家族への敬愛の念を深めたか。 (ワークシート・発言)</p>

授業の視点

- ① 事前アンケートを活用した発問や、「わたし」と母親のかかわりが表現されている一文や、語句にサイドラインを引いた資料を用意したことは、「わたし」の気持ちを感じ取り、資料の世界に入りやすくするうえで有効であったか。
- ② 抽出生徒を教師が意図的に指名し、意見を生かしたり、切り返したりしたことは、話し合いを活性化させ、学びを拓くうえで有効であったか。

板書計画

